

付録B センタ配送形マークシートの設計

1. センタ配送形マークシートの概要

センタ配送形マークシートは、マークシート上のマーク欄、常用手書き文字欄、パタン記入欄の記入位置を黒で記載することにより、「InternetFAX サービス」(以下、i F A X)を用いてファクシミリ端末へ配送することのできるマークシートです。

センタ配送形マークシートを利用する場合の効果としては次のことが考えられます。

- (1) マークシートをセンタで作成するため、マークシートの作成期間が短縮できます。また、フォーマットの変更も容易となります。
- (2) i F A Xを用いて、短時間にマークシートを提供できます。
- (3) マークシートを作成する場合、ドロップアウト色を意識する必要がありません。

2. センタ配送形マークシートの設計方法

(1) 用紙規格

センタ配送形マークシートは、

- ・ G3 機ファクシミリ用の A4 判サイズ

があります。用紙の規格を表 B-1 にしめします。(ただし、規格内容は用紙寸法を頁の標準長とした場合を記述しています。)

(2) 領域区分

センタ配送形マークシートの領域は図 B-1 のように、

- ・ FDC 領域
- ・ ユーザ領域
- ・ 自由領域

から構成されます。

(3) 構成要素と機能

センタ配送形マークシートの構成要素を図 B-1、表 B-2 に示します。

構成要素のうち、マークシートに必ず記載しなければならないマークは、次の制御マークです。

- ・ 基準位置マーク
- ・ スタートマーク
- ・ マークシート識別マーク
- ・ エンドマーク
- ・ 傾斜検出マーク

・タイミングマーク

(注) B4 版のマークシートも原理的には使用可能ですが、ファクシミリ端末を通して出力されたマークシートは誤差が累積するため正しいマークシート認識が保証できないため、使用はおすすめできません。ただし、OCR シートに印刷する場合には特に問題はありません。この場合の各種制御マーク寸法は付録 A を参照してください。また、A4 判で作成されたマークシートをファクシミリ端末から B4 判の用紙で出力したものは使用できません。

マークシート上に説明文、注意書き等が記載できる領域は次のとおりです。

- ・自由領域
- ・ユーザ領域 ユーザ領域に記載する方法を図 B-2 に示します。
 - ・行間に記載する方法
 - ・読み飛ばしマークを利用する方法

(4) マーク寸法と配置

マークシート上に記載する制御マーク、各種ガイドマークの寸法と配置を図 B-3～図 B-6 に示します。

- ・制御マーク (図 B-3 参照)
- ・マーク用ガイドマーク (図 B-4 参照)
 - 記載可能領域 縦 1.5mm 横 2.0mm
 - 配列ピッチ 縦 7.0mm(任意) 横 タイミングマークに合わせる。(固定)
- ・常用手書き文字用ガイドマーク (図 B-5 参照)
 - 記載可能領域 縦 10mm、横 7mm の長方形の各辺から内側へ幅 0.5mm の範囲
- ・パタン用ガイドマーク (図 B-6 参照)
 - 副走査線方向のパタン記入欄指定マークに対して 0.5mm 以上離すこと
 - マーク行指定マークに対して、1.0mm 以上離すこと
 - 常用手書き文字行指定マークに対して、2.0mm 以上はなすこと

なお、マークシート 1 頁にマーク用ガイドマークのみ、あるいは常用手書き文字用ガイドマークのみを配列した場合の最大個数を表 B-4 に示します。

(5) 作成方法

センタ配送形マークシートを作成する場合の計算機上でのビット数は図 B-3～図 B-5 に示す各部の寸法にファクシミリ端末の走査線密度を掛け、四捨五入した値を用います。ノーマルかファインかの選択は i F A X に送信する場合のモードに応じて決定します。

G3 機ファクシミリの場合の走査線密度は、

主走査線密度	8 ビット / mm
副走査線密度 (ノーマル)	3.85 本 / mm
副走査線密度 (ファイン)	7.7 本 / mm

となり、
左右の余白は、
左() 140 ビット 右() 140 ビット
となります。

ガイドマークの作成例を図 B-7 に、マークシートの作成例を図 B-8 に示します。

3. センタ配送形マークシート使用上の注意

- (1) ファクシミリ端末の記録用紙は OCR 用紙に比べ非常に薄いため、普通紙の使用をお勧めします。また、ファクシミリ端末への入力時には、しわにならないようにまっすぐにしっかりと挿入する必要があります。このため、ファクシミリ端末に添付されているキャリアシートをもちいることをお勧めします。
- (2) 記録紙によっては、青焼きの等の用紙に接すると化学変化を起こし、記録された情報が消えてしまうことや、長い日時放置しておくで記録状態が悪くなります。このようなマークシートは使用しないで下さい。
- (3) 記録紙に記録された制御マークが黒でしっかり記載されていない場合、記録紙に傷、汚れ等があった場合などには正常な変換処理ができないことがあります。
- (4) 本設計ガイドに沿って作成されたマークシートを紙に印刷してファクシミリ端末で配送し、その出力をマークシートとして用いた場合、正常な変換処理ができないことがあります。
- (5) 本設計ガイドに沿って作成されたマークシートをプリンタ等で印刷したものについてもマークシートとして使用することができますが、印刷時に拡大または縮小してしまった場合、正常な変換処理ができないことがあります。
- (6) 記入条件
筆記用具は黒のボールペン、黒の細字用フェルトペンに限定します。
ボールペンの場合、カスレ、ボタ落ちが生じないように注意する必要があります。
フェルトペンの場合、芯の太くなったものは使用しないで下さい。
記入ミスが生じた場合は、白の修正液を使用します。インク消しで消したり、ナイフで削り取ったりしないで下さい。
マーク記入、常用手書き文字記入の良い例、悪い例については、付録 C を参照してください。

4. おわりに

センタ配送形マークシートは i F A X における Mail - FAX、FAX - Mail 通信サービスの利便向上のために開発したものであり、センタで作成したものを i F A X を介してファクシミリ端末へ配送することを前提としたものです。したがって、その利用にあたっては、i F A X を利用することを推奨いたします。

表 B-1 センタ配送形マークシートの用紙規格

マークシート種別	項目		規格	備考
A4 判サイズ	用紙寸法	横	210.0mm 以上	JIS A4 判短辺幅相当の記録紙を用います。
		縦	297.0mm 以下	
	有効画面	横	181.0mm (固定)	マークシート認識処理に必要な制御マーク、マーク/手書き文字等が記載されません。
		縦	285.0mm 以下	
	余 白	上部	10.0mm 以上	マークシート認識処理を正常に行うための余白です。
		下部	4.0mm 以上	
左右		14.0mm 以上		

表 B-2 マークシート領域区分と用途

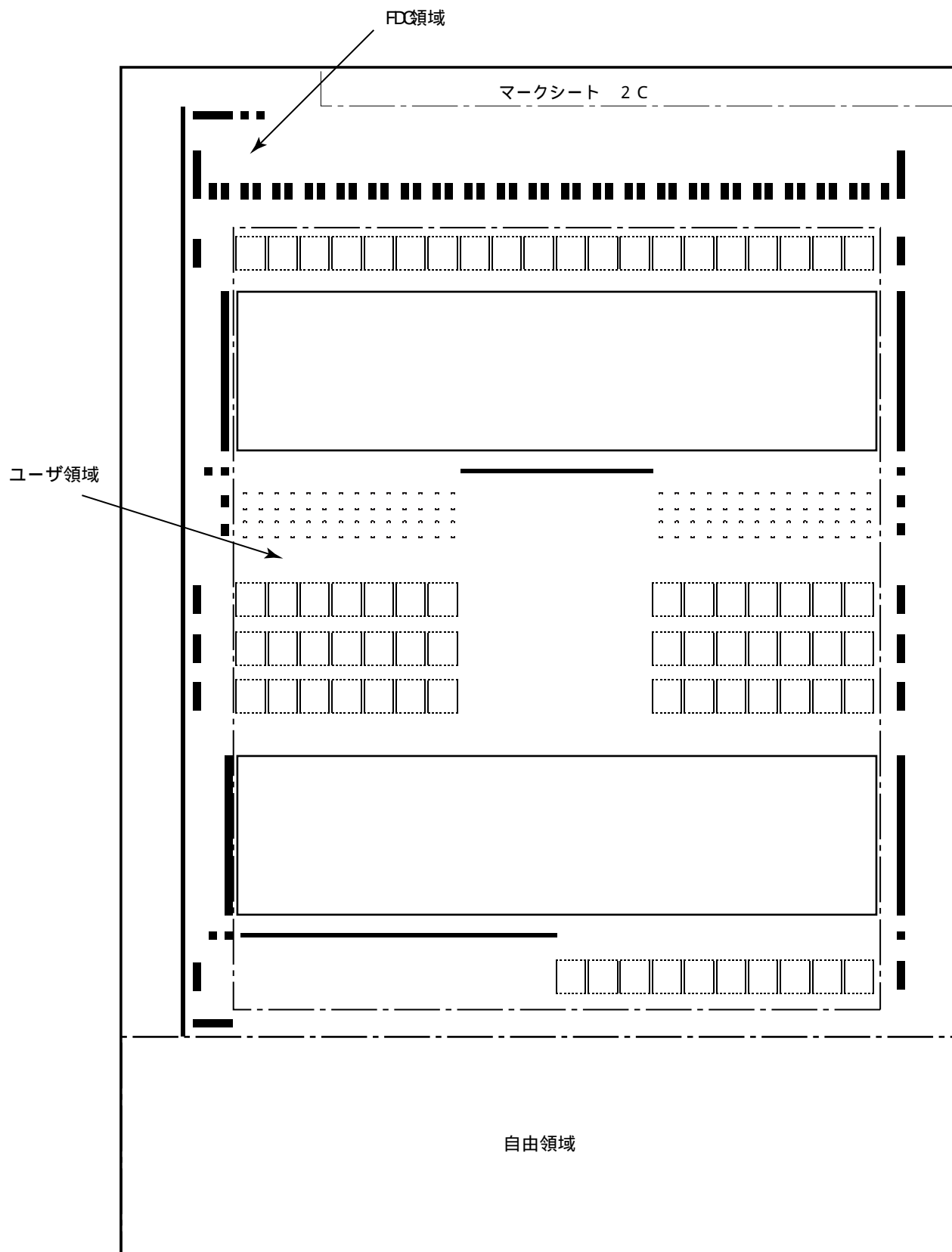
領域区分	用途
FDC 領域	・ 本領域は基準位置マーク、スタートマーク、傾斜検出マーク等、マークシート認識処理に必要な制御マークのみを記載する領域です。
ユーザ領域	・ 本領域サービス提供を受ける個々のユーザ対応の情報が記載されます。 ・ 本領域はマーク用ガイドマーク、常用手書き文字用ガイドマーク、ボタン用ガイドマーク、読み飛ばしマーク、字種指定マークが記載されます。
自由領域	・ 本領域はユーザが自由に表題や説明文等を黒色で記載できる領域です。

表 B-3 センタ配送形マークシートの構成要素と機能

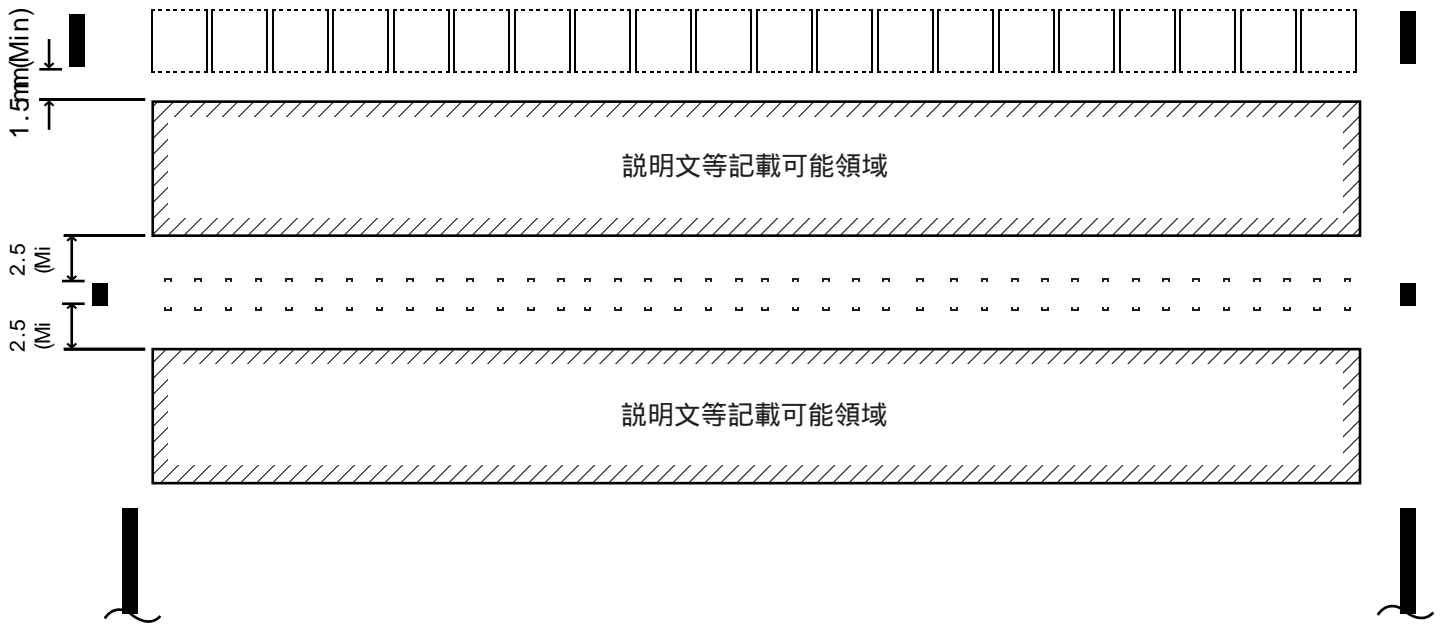
構成要素	機能	記載領域
基準位置マーク	マークシートの有効画面の左端(FAX 入力した際の主走査方向の基準位置)を示すマーク	FDC 領域
スタートマーク	マークシートの有効画面の上端(FAX 入力した際の副走査方向の基準位置)を示すマーク	
エンドマーク	マークシートの有効画面の下端(FAX 入力した際の副走査方向の基準位置)を示すマーク	
マークシート識別マーク	スタートマークの右に記載され、マークシート C (マーク、常用手書き数字、パタンを記載)であることを示すマーク	
傾斜検出マーク	マークシートを FAX 入力した際のマークシートと FAX 主走査線方向の傾斜角度を検出するためのマーク	
タイミングマーク	マーク欄、ガイドライン付数字欄、常用手書き文字欄の縦方向のセグメントの存在位置を検出するためのマーク	
情報識別指定マーク	行内に記載した情報の種別を検出するためのマーク	
マーク行指定マーク	マーク欄を記載する行であることを示すマーク	
ガイドライン付数字指定マーク	ガイドライン付数字欄を記載する行であることを示すマーク	
常用手書き数字行指定マーク	常用手書き数字・記号欄を記載する行であることを示すマーク	
常用手書き英字行指定マーク	常用手書き英字欄を記載する行であることを示すマーク	
常用手書きカナ行指定マーク	常用手書きカナ欄を記載する行であることを示すマーク	
パタン記入欄指定マーク	パタンを記載する欄であることを示すマーク	
読み飛ばしマーク行指定マーク	読み飛ばしマークを記載する行であることを示すマーク	
字種行指定マーク	常用手書き数字行内の字種指定マークを記載する行であることを示すマーク	
読み飛ばしマーク	マークと数字(ガイドライン付数字又は常用手書き数字)の読み飛ばし領域を示すマーク	
字種指定マーク	常用手書き数字行内の認識字種を指定するためのマーク	
マーク欄	マークを記載する欄	
常用手書き文字欄	常用手書き数字、英字、カナ、記号を記入する欄	
パタン記入欄	パタンを記載する欄	

表 B-4 センタ配送形マークシートにおける最大マーク数(標準頁長の場合)

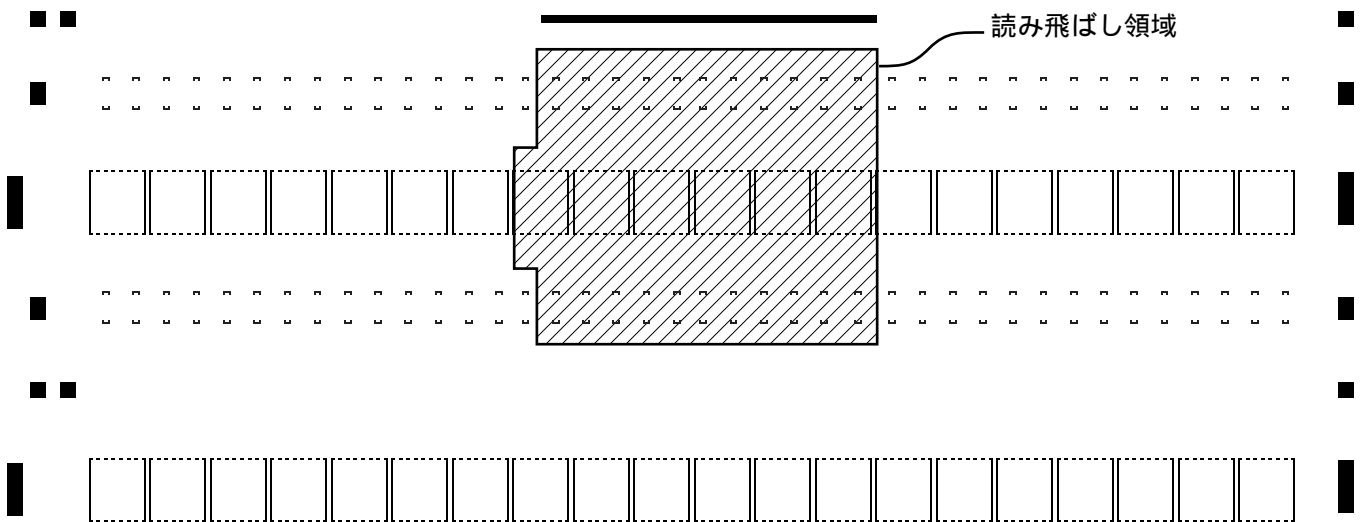
マークシート 種別	情報種別	最大情報(個)			備考
		縦	横	合計	
2C	マーク	34	40	1,360	マーク欄のみ配列する 場合
	常用手書き文字	26	20	520	常用手書き文字欄のみ 配列する場合



図B-1 マークシート例と領域区分

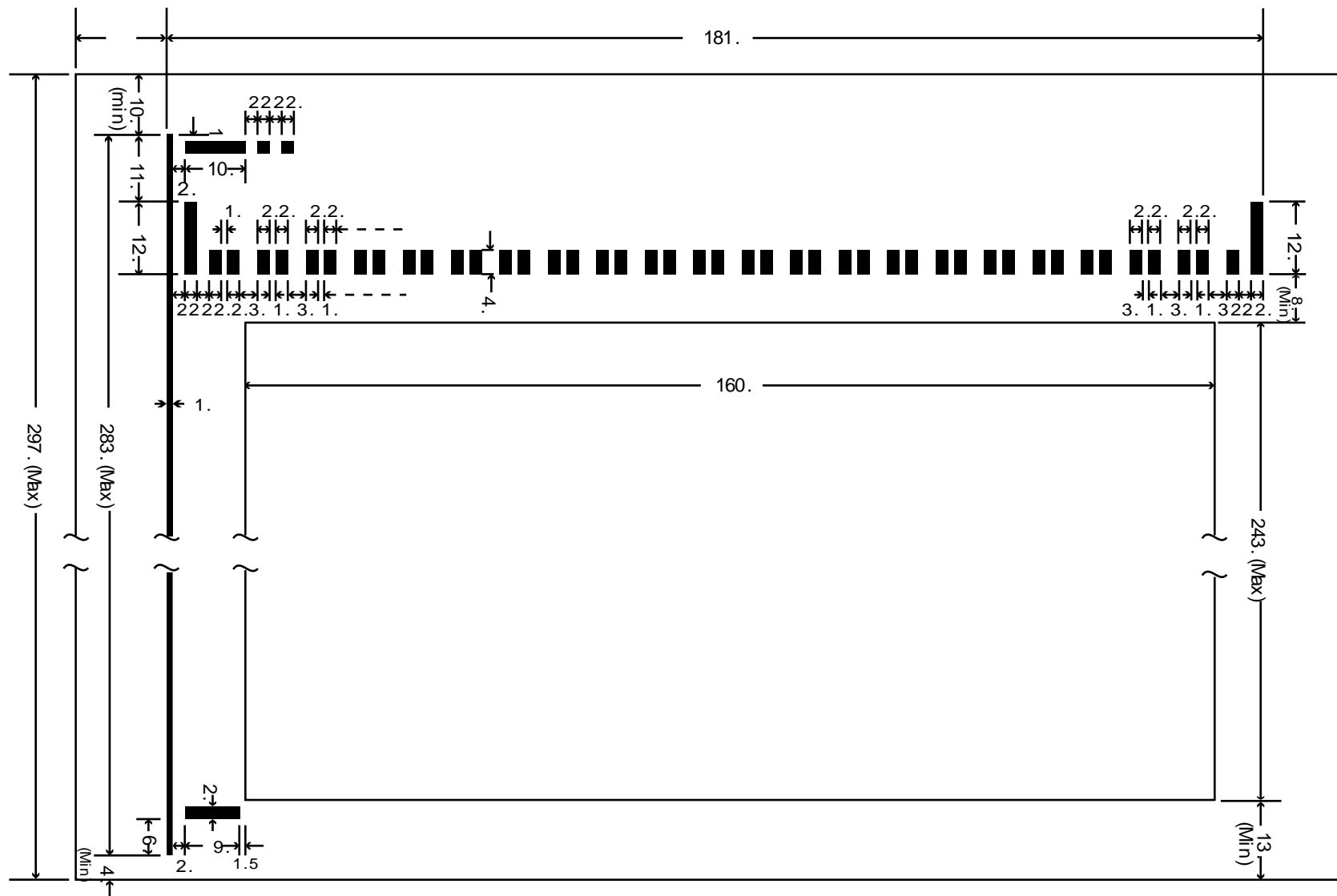


(1) 行間に記載する場合

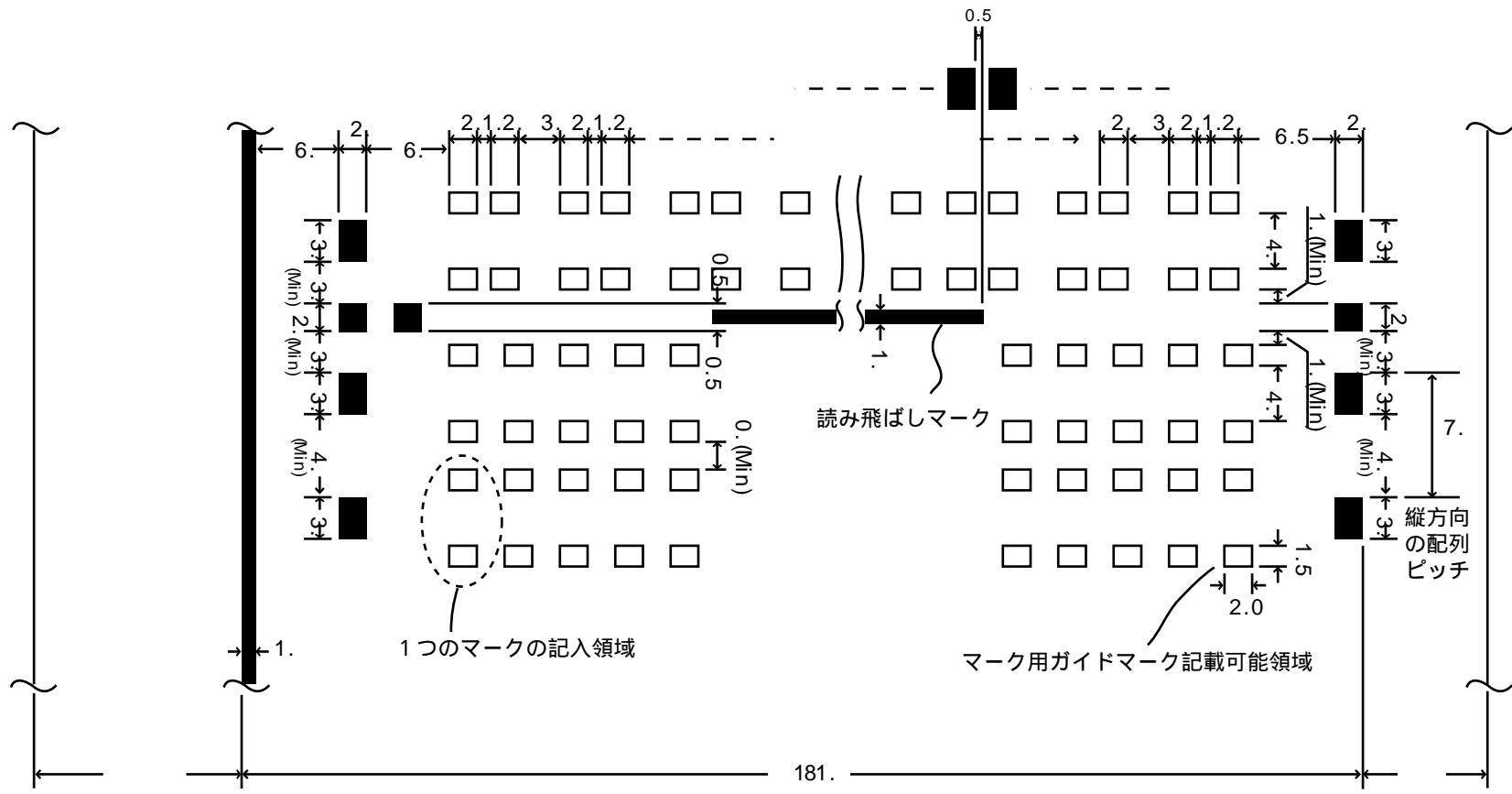


(2) 読み飛ばし領域に記載する場合

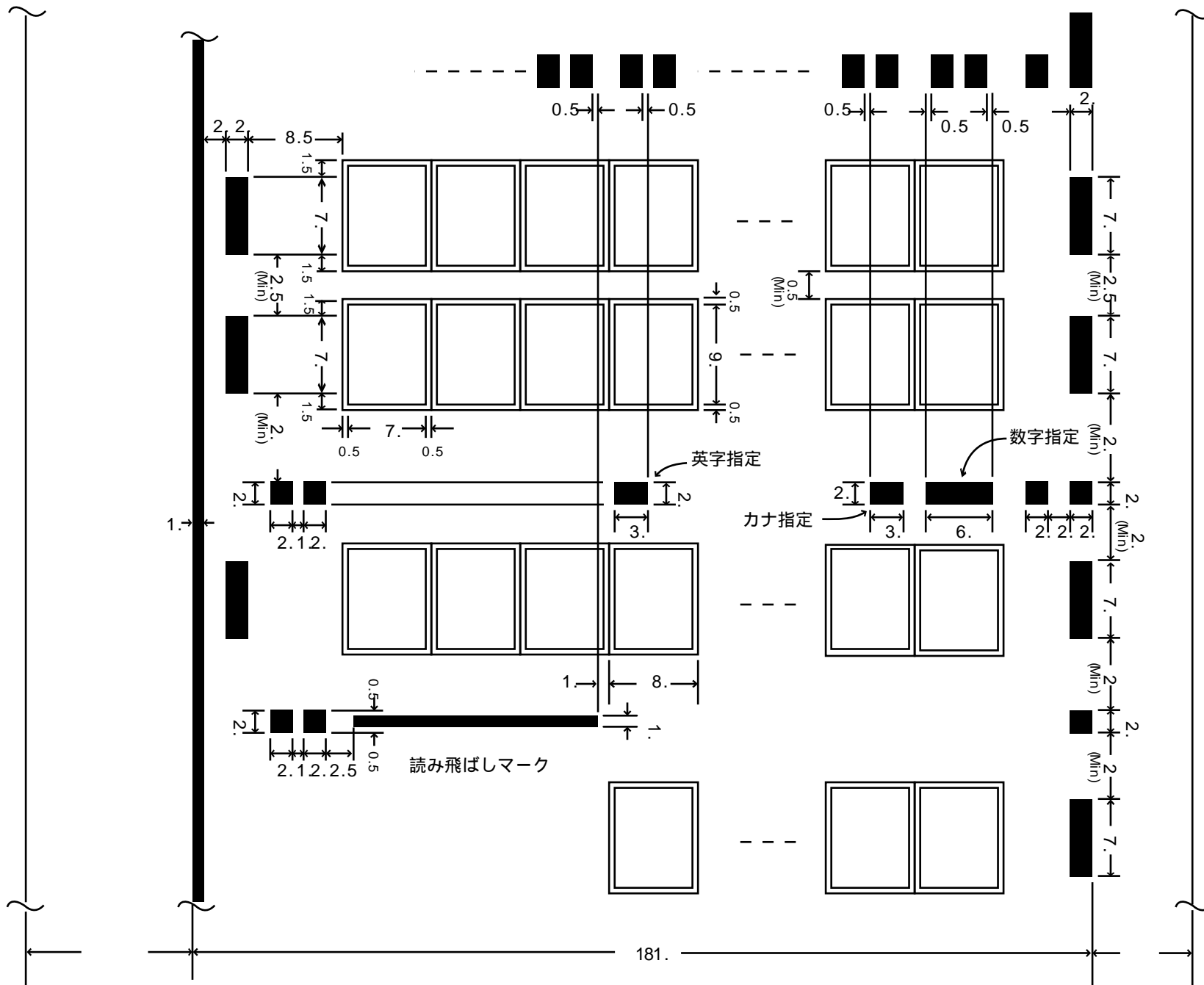
図B-2 説明文等の記載領域



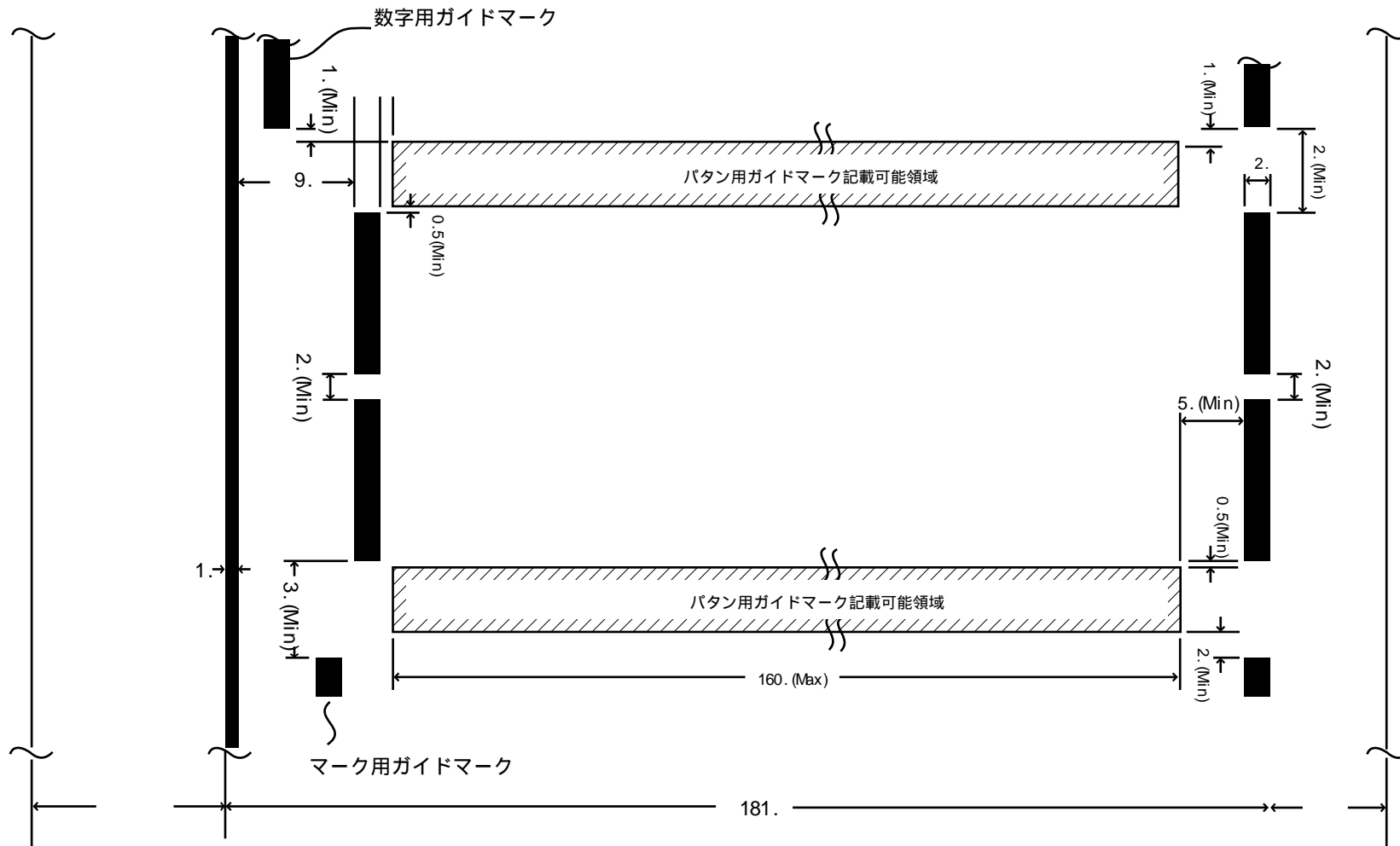
図B-3 A 4 判用制御マークの寸法と配置
 注) 中央部分(横 160mm, 縦 243mm(Max))はユーザ領域である。



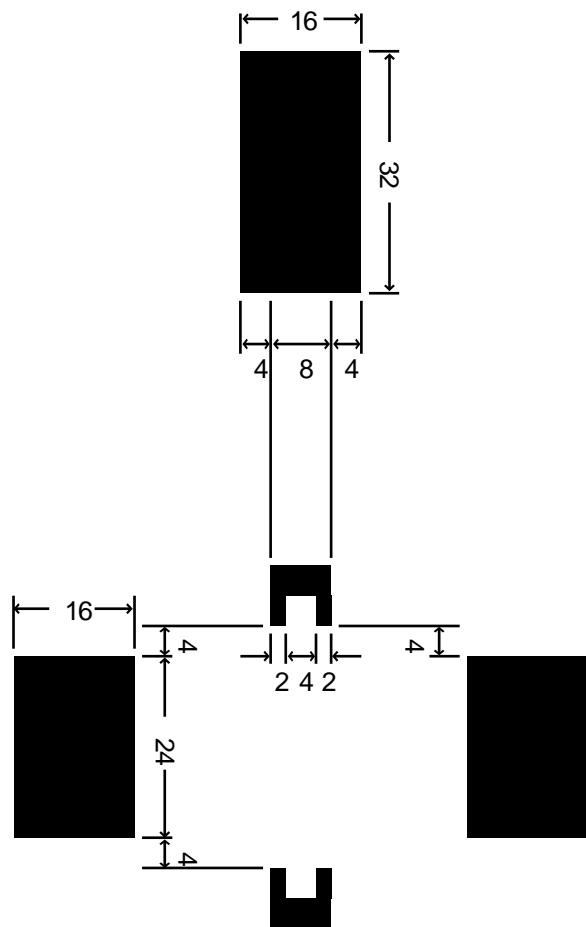
図B-4 マーク用ガイドマークの記載可能領域



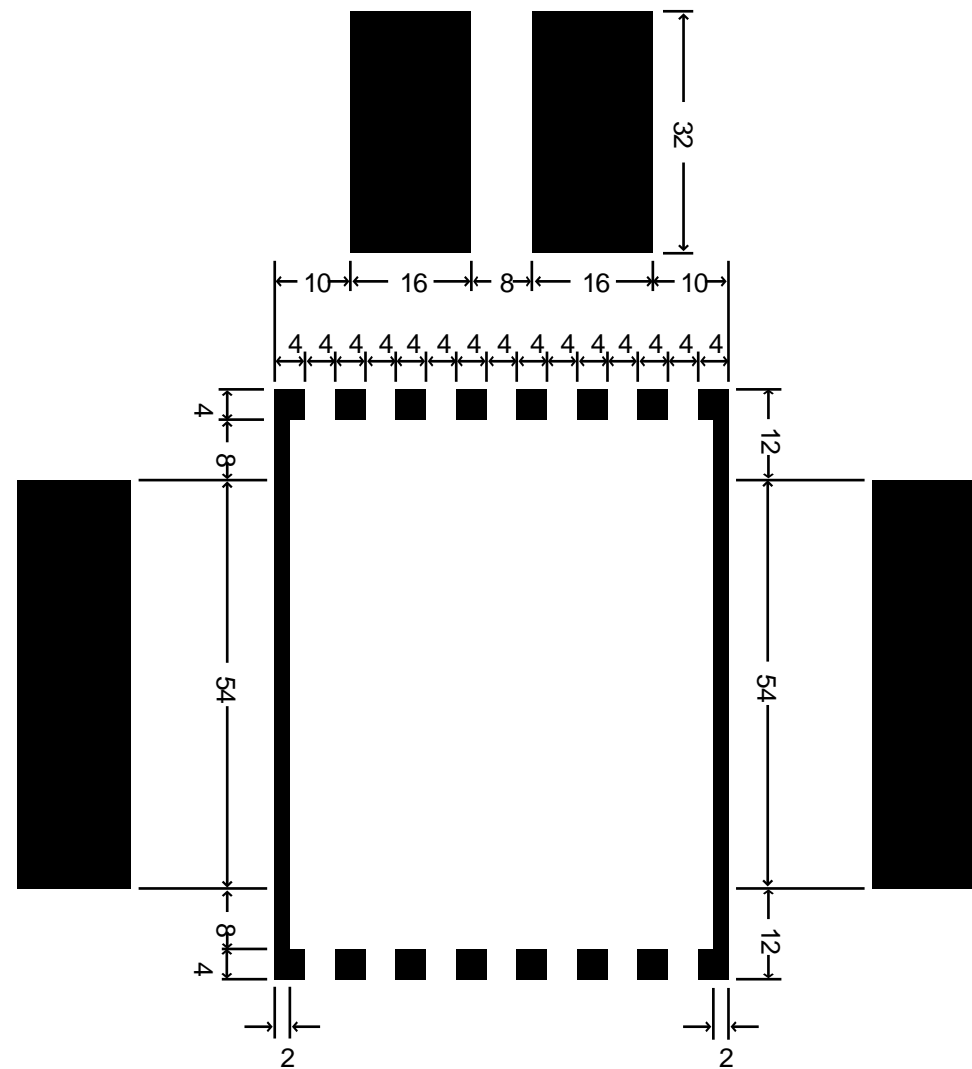
図B-5 常用手書き文字用ガイドマークの記載可能領域



図B-6 パタン用ガイドマークの記載可能領域



(1) マークの場合



(2) 常用手書き文字 (数字・記号・英字・カナ) について

図B-7 ガイドマークの例 (G3機、ファインモード出力の場合)

単位は画素または計算機上のビットです。

ノーマルモードで出力する場合は、縦のビット数を 1/2 にします

センタ配送形マークシート

会員番号

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

搭乗月日 2 月 2 2 日

予約枚数 大人 2 枚 子供 3 枚

便名

123 456 789 135 246 357 468 579 680 791 802
: : : : | : : : : :

サイン（大きな字で書いて下さい）

コム太郎

- ・マークはガイドマークの間をつなぐよう丁寧に記述してください。
- ・手書き数字は枠からはみ出さないように枠の中央に丁寧に記述してください。
- ・本マークシートは汚した折ったりしないでください。

図 B-8 センタ配送形マークシート